議会事務局 処　理　欄	受 付	令和７年５月２２日 ９時１０分	質問（受付）順位	２番

令和　７年　５月２２日

阿久比町議会
議長　竹内　卓美　殿

阿久比町議会議員
新美　三喜雄
議席番号　　８番

一　般　質　問　の　通　告　に　つ　い　て

令和７年第２回定例町議会において次のように質問したいから通告します。

番号	質　問　事　項	質　問　の　要　旨　　（具体的にご記入願います）	備　考
1	里山として住環境を守るには	里山とは、集落や耕地の周囲の山や森林を指す。 本町は、名古屋・三河圏へのアクセスも良く、民間の宅地開発によるベッドタウン化が進んでいる。そのような中、担い手不足とは言え、唯一の産業として、古くからの農業を中心とした田園風景が残り、それを囲む山林が存在している。 昨今の山林は、孟宗竹の繁殖が樹木を阻害し、近隣の遊休農地までも埋め尽くしつつある状況で、竹林の管理は地権者にとって大きな課題となっている。 ① 町全体における農地・山林のそれぞれの面積の比率は。 ② 町の山林管理施策の実情は。 ③ 山林整備推進のための補助制度は。 ④ 住環境整備のための山林管理の今後は。	
2	町民のための阿久比スポーツ村の今後は	スポーツ村が生まれて３８年、阿久比スポーツ村となって２２年になり、施設の老朽化や昨今の社会変化に伴い利用者も減少している中、３年前に交流センターがオープンし、野球場のトイレ改修や陸上競技場の芝生グランドへの改設等を行い、新たな施設として生まれ変わろうとしている。	

番号	質　問　事　項	質　問　の　要　旨　（具体的にご記入願います）	
		①　令和６年度阿久比スポーツ村の利用者全体に対し町内の個人・団体のそれぞれの利用件数比率は。 ②　よりみち・灯籠まつり等各種イベント会場としての利便性について、どう考えるか。 ③　競技・その練習場として発足した設備に対し、今後は町民のための施設利用を視野に入れたリニューアルが必要と考えるが、そのバランスをどう考えるか。 ④　阿久比スポーツ村の施設の今後のあるべき姿の検討として外部のコンサルティング会社へどのようなテーマで、委託していくか。 ⑤　阿久比スポーツ村の活用は、これからのまちづくりにも大きく寄与する課題である。まちづくり全推進施策を俯瞰して、その整合性をどの部署で取っていくのか。 以上	